

議会だより入善

GIKAI DAYORI

NYUZEN

No. 215

2025年11月27日

丹精込めて育った多種多様な菊
(第60回入善町菊花展)

9月
定例会

じゅわ～
にゅうせん

主な内容

補正予算の概要	… 2P
新しい議会組織決まる	… 4P
常任委員会レポート	… 7P
代表・一般質問（6議員）	… 10P
決算特別委員会レポート	… 16P

9月定例会のあらまし

を発行（プレミアム率30%）

9月定例会は、2日から18日までの17日間開会し、町長から提案された令和7年度補正予算5件、条例の一部改正など議案1件のほか、議員提出議案1件を審議し、すべて可決した。

また、8月臨時会で継続審査とした令和6年度決算6件を認定したほか、入善町教育委員会委員の任命について同意した。

補正予算の概要

○児童活動運営費	273万円
○生徒活動運営費	228万円

一般会計補正予算の主な内容は、長引く物価高騰の影響を緩和するため、入善町プレミアム商品券の発行や小・中学校給食費の値上げ分の補助、町内障がい者福祉施設・高齢者福祉施設に対する支援などである。

歳入、歳出とともに1億100万2千円を追加し、総額117億9832万8千円とした。

◎一般会計の主な事業

○地域経済等支援事業費	3954万円
○障害者福祉対策費	98万円
○在宅介護支援事業費	240万円

引き続く物価高により、消費控えが懸念される町内消費を喚起し、町民への支援と併せて、町内事業者の経営の一助となるよう、プレミアム率30%のプレミアム商品券を発行する。1セット6500円分の商品券を5000円で販売する。（一人4セットまで応募可能）

※応募期間は終了

（2）

◎特別会計

○国民健康保険特別会計	110万円を増額
○後期高齢者医療特別会計	66万円を増額

◎事業会計

○簡易水道事業会計	52万円を増額
○下水道事業会計	1438万6千円を増額

条例の一部改正

次の条例の一部改正案を審議した。

○入善町職員の育児休業等に関する条例及び入善町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	
○入善町議会委員会条例の一部改正について	

議員提出議案

賛成全員で可決

○入善町議会委員会条例の一部改正について	
○賛成全員で可決	

令和7年度 入善町プレミアム商品券

教育委員会委員の同意

9月30日で任期満了となる加藤裕子委員の後任として、上野藍子氏を任命することに同意した。（任期は4年）

新 上野藍子氏

令和6年度決算認定

一般会計決算と国民健康保険特別会計は賛成多数で認定、育英奨学資金特別会計や後期高齢者医療特別会計、簡易水道事業会計、下水道事業会計は賛成全員で認定された。

反対討論 松田俊弘議員

一般会計の借金残高は約154億円で10年間に約30億円も増えている。その返済額も10年前より毎年2億6千万円も増えており、住民の暮らしへの予算が圧迫される。町の支出に占める投資的経費は他市町と比べ極端に多い。大型公共事業は集中させず、住民の暮らしや福祉を優先させるべきだ。地域から寄せられた生活道路の改修などに対応できたのは76%で、要望に応えられる予算編成にすべきだ。

防災対策では、避難所となる体育館の工アコン設置や使いづらい段ボール間仕切りの変更などを確実に進めていくべきだ。農業では規模の拡大や集約化だけでは

なく、家族経営であつても意欲のある農家の機械更新にも支援すべきだ。

教育の分野では、スクールカウンセラーや特別支援教育に長けた人の確保のために予算を大幅に増やすべきだ。

国民健康保険特別会計では、国保税の限度額を3万円引上げ102万円としたが、あまりにも負担が大きい引き上げは認めるわけにはいかない。

臨時会 8月1日

8月1日に開かれた臨時会では、町長から提案された条例の一部改正に関する議案1件を審議し、可決した。

条例の一部改正

次の条例の一部改正案を審議した。

○入善町議会議員及び入善町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について

賛成全員で可決

決算特別委員会の設置

令和6年度一般・特別・事業の各会計決算認定については、5名の委員による決算特別委員会を設置し、次期9月定例会まで審査することとした。

委員長 中瀬淳哉
副委員長 鍵田昭昭
委員 池佐松田俊弘
佐藤一仁

また、近年の危険な暑さの中では、安全な教育環境を確保するためにも早急に小・中学校の体育館に空調を設置すべきであると決算特別委員会で多くの意見が出た。引き続き、補助要件を研究していただきたい。

新しい 議会組織決まる

臨時会
10月30日

就任のご挨拶

議長

池原 純一

副議長

鍵田 昭

このたび、議員各位の推挙により議長に選任されました。身に余る光栄とともに責任の重さを痛感しております。

議会改革を断行し、定数12名となって初の選挙は、町政にとって重要な節目です。人口減少が進むなか、出産・子育て・教育・生業など、暮らしの基盤への影響に迅速かつ的確に対応する必要があります。

また、女性議員3名の誕生は新たな視点と活力をもたらすものと期待しております。

多様な意見を尊重し、安心して子育てできる環境や高齢者支援、災害に強い社会インフラ整備に尽力してまいります。

今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

このたび、議員各位のご推挙により副議長に就任させていただきました。

身に余る光栄であり、その重責に身の引き締まる思いであります。

浅学非才ではありますが、議長を補佐し、町の一層の活性化を推進していきたいと思います。

少子・高齢化、人口減少による労働者不足など、当町には喫緊の課題が山積みであり、町当局と議論を重ね、活力ある町づくりに励む覚悟です。

これからも議会改革を進めながら議会本来の役割を十分認識し、町政の発展に努力していきます。

今後ともよろしくお願ひいたします。

★総務常任委員会

委員長 佐藤 一仁

副委員長 井田 義孝

委員 五十里国明

副委員長 本田 均

委員 佐藤 一仁

副委員長 井田 義孝

委員 池原 純一

副委員長 飯田 朱美

★産業教育常任委員会

委員長 中瀬 淳哉

副委員長 松田 俊弘

委員 元島 正隆

副委員長 加藤 裕子

委員 本田 均

副委員長 鍵田 昭

委員 佐藤 一仁

副委員長 松田 俊弘

委員 五十里国明

副委員長 加藤 裕子

★議会運営委員会

委員長 委員 副委員長

元島 正隆

委員 委員 副委員長

佐藤 一仁

委員 委員 副委員長

松田 俊弘

委員 委員 副委員長

中瀬 淳哉

委員 委員 副委員長

本田 均

★議会改革特別委員会

委員長 元島 正隆

副委員長 本田 均

全議員 佐藤 一仁

副委員長 佐藤 一仁

委員長 佐藤 一仁

副委員長 佐藤 一仁

★監査委員（議会選出）

★交通網対策特別委員会

委員長 五十里国明

副委員長 本田 均

委員 佐藤 一仁

副委員長 井田 義孝

委員 池原 純一

副委員長 飯田 朱美

★環境・上下水道対策特別委員会

委員長 元島 正隆

副委員長 中瀬 淳哉

委員 佐藤 一仁

副委員長 加藤 裕子

委員 五十里国明

副委員長 加藤 裕子

★議会広報編集特別委員会

委員長 委員 副委員長

鍵田 昭

委員 委員 副委員長

佐藤 一仁

委員 委員 副委員長

井田 義孝

委員 委員 副委員長

飯田 朱美

委員 委員 副委員長

中瀬 淳哉

委員 委員 副委員長

加藤 裕子

委員 委員 副委員長

本田 均

委員 委員 副委員長

佐藤 一仁

委員 委員 副委員長

元島 正隆

委員 委員 副委員長

佐藤 一仁

委員 委員 副委員長

元島 正隆

新議員の紹介

【議席順】

【敬称略】

氏名、年齢（10月30日現在）、党派新旧別、当選回数、職業、住所の順



鍵田 昭 70歳
自現 ③
会社員、東福



三賀 喜久美 62歳
無新 ①
会社員、舟見



飯田 朱美 54歳
無新 ①
作業療法士、上飯野新



加藤 裕子 49歳
無新 ①
無職、上野



中瀬 淳哉 47歳
自現 ④
会社員、入膳



本田 均 67歳
無現 ④
自営業、入膳



井田 義孝 56歳
共現 ④
無職、芦崎



池原 純一 70歳
自現 ③
農業、柄山



元島 正隆 72歳
自現 ⑧
自営業、上野



松田 俊弘 69歳
共現 ⑧
無職、春日



佐藤 一仁 70歳
自現 ⑥
無職、横山



五十里 国明 81歳
自現 ④
農業、東五十里

☆新川地域消防組合議会

議員
〃〃
池原 本田 五十里国明
純一 均

☆新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合議会

議員
〃〃
鍵田 池原 松田
昭 純一 俊弘
一仁

☆新川広域圏事務組合議会

議員
〃〃
池原 佐藤 元島
純一 一仁 正隆

8月臨時会の議決状況

議案番号	氏名	鍵田昭	池原純一	岡島功	井田義孝	中瀬淳哉	田中伸一	五十里国明	佐藤一仁	松澤孝浩	松田俊弘	元島正隆
議案第35号 入善町議會議員及び入善町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

9月定例会の議決状況

議案番号	氏名	鍵田昭	池原純一	岡島功	井田義孝	中瀬淳哉	田中伸一	五十里国明	佐藤一仁	松澤孝浩	松田俊弘	元島正隆
議案第36号 令和6年度入善町一般会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
議案第37号 令和6年度入善町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
議案第38号 令和6年度入善町育英奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号 令和6年度入善町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号 令和6年度入善町簡易水道事業会計決算認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号 令和6年度入善町下水道事業会計決算認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号 令和7年度入善町一般会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号 令和7年度入善町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号 令和7年度入善町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号 令和7年度入善町簡易水道事業会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号 令和7年度入善町下水道事業会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号 入善町職員の育児休業等に関する条例及び入善町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案3号 入善町教育委員会委員の任命について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第2号 入善町議会委員会条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○：賛成、×：反対

環境・上下水道対策特別委員会レポート

8月1日に委員会が開催され、令和6年度下水道事業会計決算などについて協議した。収益的収支（下水道施設の維持管理に必要な収支）は、収入額12億6004万円、支出額12億956万円、当年度純利益5048万円（税込）であった。

資本的収支（下水道施設の建設改良に必要な収支）は、収入額5億7859万円、支出額9億7489万円、資本的収入の不足額は3億9630万円であった。

令和6年度下水道事業実績と7年度下水道事業計画について

令和6年度は、国道8号沿いの区間138メートル、青島口信号付近20メートルを整備した。令和7年度は、米澤電気商会前の約20メートル区間と青島口信号付近の残り約1メートルを整備予定であり、この2つの工事が完了すれば、国の補助事業による管渠整備は完了となる。

主要財源別財政見通しの試算

A Q 物価高騰による維持費に影響はないか。

今後の物価上昇の状況を鑑み、毎年シミユレーションに反映させていく。

A Q 配管の更新時期はいつ頃になるのか。

管渠の耐用年数は50年とされており、古いもので平成12年に供用を開始しているため、早く25年後に更新を検討する必要がある。今回のシミュレーションでは、機械設備や電気設備等の更新を見込んでいる。

常任委員会合同研修レポート 7月1日～7月2日

7月1日から2日にかけて1泊2日の日程で、愛知県清須市、岐阜県各務原市、高山市を両常任委員会で合同視察した。



L P ガスバルク (新川小学校)

ス配管の断絶が起きた場合にも発災直後から数日間を安定的に稼働できる災害対応型L P ガスバルク供給システムとガスエンジン・ヒートポンプ・エアコンを市内の小・中学校（全13施設）に導入した。

この整備にかかった総額は約10億4400万円であり、その内の約3億9100万円についてエルピーガス振興センターの補助を受けた。

（学校の環境整備）
学校体育館の空調整備
について
愛知県清須市

清須市は、平成12年に発生した東海豪雨により甚大な被害を受けたことをきっかけとして、防災・減災対策に力を入れて取り組んできた。近年は災害的な暑さであることから、避難所として指定している学校体育館の空調整備を課題としていた。

また平時は、児童・生徒が体育館を学校活動で使用するにあたり、熱中症の危険性も課題であった。この二つの課題に対して、清須市は、大規模災害により電線や都市ガ

ス配管の断絶が起きた場合にも発災直後から数日間を安定的に稼働できる災害対応型L P ガスバルク供給システムとガスエンジン・ヒートポンプ・エアコンを市内の小・中学校（全13施設）に導入した。

（学校の環境整備）
学校体育館の空調整備
について
愛知県清須市

清須市は、平成12年に発生した東海豪雨により甚大な被害を受けたことをきっかけとして、防災・減災対策に力を入れて取り組んできた。近年は災害的な暑さであることから、避難所として指定している学校体育館の空調整備を課題としていた。

また平時は、児童・生徒が体育館を学校活動で使用するにあたり、熱中症の危険性も課題であった。この二つの課題に対して、清須市は、大規模災害により電線や都市ガ

園、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館、サイクリングロードが隣接しており、施設の相乗的な充実

12月からオープンした。
公園内の施設として
(愛知県清須市)



木曽川前渡南公園内のトイレ施設

（学校の環境整備）
河川空間のオープン化
について
岐阜県各務原市

清須市は、平成12年に発生した東海豪雨により甚大な被害を受けたことをきっかけとして、防災・減災対策に力を入れて取り組んできた。近年は災害的な暑さであることから、避難所として指定している学校体育館の空調整備を課題としていた。

また平時は、児童・生徒が体育館を学校活動で使用するにあたり、熱中症の危険性も課題であった。この二つの課題に対して、清須市は、大規模災害により電線や都市ガ

（学校の環境整備）
河川空間のオープン化
について
岐阜県各務原市

清須市は、平成12年に発生した東海豪雨により甚大な被害を受けたことをきっかけとして、防災・減災対策に力を入れて取り組んできた。近年は災害的な暑さであることから、避難所として指定している学校体育館の空調整備を課題としていた。

また平時は、児童・生徒が体育館を学校活動で使用するにあたり、熱中症の危険性も課題であった。この二つの課題に対して、清須市は、大規模災害により電線や都市ガ

は、バーべキューができるデイグラランピングや軽食販売、フリーバイクコース、イベント広場、休憩所、トイレなどが配置されている。

12月からオープンした。
(愛知県清須市)



（学校の環境整備）
河川空間のオープン化
について
岐阜県各務原市

清須市は、平成12年に発生した東海豪雨により甚大な被害を受けたことをきっかけとして、防災・減災対策に力を入れて取り組んできた。近年は災害的な暑さであることから、避難所として指定している学校体育館の空調整備を課題としていた。

また平時は、児童・生徒が体育館を学校活動で使用するにあたり、熱中症の危険性も課題であった。この二つの課題に対して、清須市は、大規模災害により電線や都市ガ

園、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館、サイクリングロードが隣接しており、施設の相乗的な充実



どうなる米政策



中瀬 淳哉 議員（会派 アクト）

差額補償など農家の所得補償を

町長 必要ならば要望していきたい

国に求めていくべきだ

問 政府はコメの需要を見通せず生産量が不足していたことが価格高騰を招いたとして増産にかじりを切る方針を表明した。

増産により価格が落ちたとしても生産者が安心して米を作れるようなセーフティネットを確立すべきだ。適正な消費者価格と生産者価格との差を国が埋める差額補償など、農家の所得補償を町からも強く求めなくてべきだ。

笹島町長 政府の検討の推移を注視し、必要なならば国や県に要望をしていきたいと考えている。

基盤整備等の土地改良事業を進めていくべき

計画的に支援していくべきだ。

良事業の町負担分11%は大きい支出だが、農業は

当町の基幹産業であり、これまで以上に積極的に集約化と土地改良事業を進めていくべきだ。

町長 県営土地改良事業は、国・県の補助金に加え、町が11%、地元も11・5%の割合で負担することとなっている。

町では国や県の補助制度の拡充と負担金の軽減などについて毎年、県に要望している。

町としても県営土地改良事業は有効な施策であると考えている。

今後も地域の合意形成が図られ、農地の集約化や農業水利施設の改修など、新たに事業が計画実施される際には、引き続き計画的に支援していく。

きたいと考えている。

旧役場庁舎と旧消防署を早急に解体すべきだ

具体的な時期については明言が難しい

問 旧庁舎と旧消防署を早急に解体すべきだが、いつ頃を予定するのか。

町長 入善東部保育所や西部保育所の跡地利用はどういうに考えているのか。

問 入善東部保育所や西部保育所の跡地利用はどういうに考えているのか。

計画後期基本計画において、跡地の利用をどのように位置付けるか庁舎内で検討していきたい。

公民連携や民間主体なども含めて、様々な可能性について調査・研究していきたい。

町長 現在策定中の総合計画後期基本計画において、跡地の利用をどのように位置付けるか庁舎内で検討していきたい。

公民連携や民間主体なども含めて、様々な可能性について調査・研究していきたい。

今後、他の使用されない町有地も含めて要件等を整理するなど、公募入札に向けた準備を進めていきたい。

学校体育館の空調設置が急務だが対応策は

町長　来年度に断熱調査を実施し、整備の方向性を検討する

問　今年も暑さのために学校の体育館が利用できない日があった。子供たちの学習環境整備のために空調設備の設



早期の空調設備設置が望まれる学校体育館

置が急務だ。来年夏に間に合わせるような具体策はあるか。

笹島町長　近年の記録的な暑さとなる夏が、教育環境へも大きな影響を与えている。学校現場では、熱中症事故を防ぐために対策を講じている。

空調設備のない体育館での授業では児童・生徒の体調に気を配り、休憩や水分補給を徹底し、それでも危険な場合は、体育館での活動から空調が整備されている場所での授業に切り替えるなど、工夫しながら対応している。

児童・生徒の安全確保はもとより、教育上の観

点からも体育館の空調は必要だ。また、災害発生時の避難所としての機能強化も社会的な要請だ。

令和6年度に創設された空調設備整備臨時特例交付金を活用して整備したいが、断熱性の確保が条件となっているため、まずは、来年度に調査を実施した後、整備の方向性を検討していきたい。

学校のバリアフリー化を推進してはどうか

問　身体に障がいのある児童・生徒の学校生活に

支障が生じないように、エレベーターや階段昇降

機などの設置を考えはどうか。

町長　障がいの有無に関する

金で安心して暮らせるよう、ケアハウスを整備する考えはないか。

腰本保健福祉課長　ケア

ハウスは軽費老人ホームの一種で町内には無いが、低額な料金で生活支援を受けながら生活できる。

エレベーターなどの整備についても、現在、肢

体不自由級に在籍する児童がいる学校で、校舎の構造上も設置可能な昇降機の整備を検討している。令和8年度の設置工事実施に向けて、国の事業採択への要望を行つて

いる。

町内にケアハウスはないが、東町住宅に20戸のシルバーハウジングを整備して、生活相談など支援している。また、民間のサービス付き高齢者向け住宅が2カ所ある。

ケアハウスのニーズは一定数有ると推測できる

だ。

町が運営主体になるには専門性などから困難

問　自宅での生活が困難な高齢者のために、低料

佐藤
一仁　議員（会派　自民清流会）



エレベーターが設置される予定の入善駅

新聞で「泊駅にエレベーター設置が決定、入善、黒部駅にも計画中」と報じられたが入善駅への具体的なエレベーター設置計画があつた。

その後、あいの風とやま鉄道の中長期計画へのエレベーター設置位置づけという手順は変わりない。しかし、6月23日に開催されたあいの風とやま鉄道利用促進協議会で、日吉取締役会長から「多少時間がかかるかもしないが入善、黒部、泊の三駅ともエレベーター設置の方向で進んでいる」との発言があつたことから大きく前進したものと捉えている。

問 新聞で「泊駅にエレベーター設置が決定、入善、黒部駅にも計画中」と報じられたが入善駅への具体的なエレベーター設置計画があつた。

竹島副町長 国の補助を受けるためのバリアフリーベース構造の策定、その基本構造の策定、その手順は変わらない。

しかし、6月23日に開催されたあいの風とやま鉄道利用促進協議会で、日吉取締役会長から「多少時間がかかるかもしないが入善、黒部、泊の三駅ともエレベーター設置の方向で進んでいる」との発言があつたことから大きく前進したものと捉えている。

問 令和7年産米の作況や値段はどうか

答 平年より収量多くなると予想

問 今年も猛暑でコメのためのバスを復活すべきだ。せめて朝の時間にもう1台増車すべきだ。

若林キラキラ商工観光課長 免許返納者は令和4年度は162人、5年度

新聞で「泊駅にエレベーター設置が決定、入善、黒部駅にも計画中」と報じられたが入善駅への具体的なエレベーター設置計画があつた。

竹島副町長 国の補助を受けるためのバリアフリーベース構造の策定、その手順は変わらない。

しかし、6月23日に開催されたあいの風とやま鉄道利用促進協議会で、日吉取締役会長から「多少時間がかかるかもしないが入善、黒部、泊の三駅ともエレベーター設置の方向で進んでいる」との発言があつたことから大きく前進したものと捉えている。

問 乗合タクシーのウチマエくんの朝の予約は1週間前から予約をしなければならない、乗合なので、迎え・到着時間の見通しが立たないなどの問題点がある。

この3年間の免許返納者の推移はどうか。一番

答 JA全農とやまでは値段が5キロあたり4000円を超えないよう概算金を決定し、供給量も充分あるとのことだ。

JA全農とやまでは値段が5キロあたり4000円を超えないよう概算金を決定し、供給量も充分あるとのことだ。

お米券など特定の支援

町内の作況や値段はどの支援は考えないのか。お米券などもさらなる物価高騰などにより、町民生活に大きな影響が懸念される場合には、支援と経済対策には努めたい。

入善駅のエレベーター設置計画に進展は副町長 あいの風とやま鉄道が設置意向を表明



井田 義孝 議員（会派 日本共産党）

は118人、6年度は138人だ。かつて、のらんマイカーで「バス停が遠くで利用したくても出来ない」という声を受けデマンド交通ウチマエくんを導入した経緯がある。朝に特に予約が取れない状況ではないが、予約の不成立を改善するため、増車も含め町タクシーアー協議会との協議を継続している。

JA全農とやまでは値段が5キロあたり4000円を超えないよう概算金を決定し、供給量も充分あるとのことだ。

お米券など特定の支援は考えていないが、今後もさらなる物価高騰などにより、町民生活に大きな影響が懸念される場合には、支援と経済対策には努めたい。



アンダーのイメージ図

旧役場前交差点のアンダーパス化が必要だ 町長 実現は難しいのではないか



五十里 国明 議員

問 昨年1月の地震では、旧役場前交差点が大変渋滞した。この交差点のアンダーパス化について、町は「国の整備により交

通がスマーズになることを期待して現在の現道拡幅を優先し、市街地から主要なアクセス道路として1路線目は入善高校西側の県道入善字奈月線、2路線目は役場現庁舎の東側の県道入善字奈月線、3路線目は役場現庁舎の東側の町道高登線と町道運動公園上田線、3路線目はアイシン新和西側にある町道上原上村国道線、この3路線を確保することことで町民の道路利用に関する利便性の向上はもちろん、災害時のリスク回避といった防災面の強化に繋がる」との答弁であったがその考えは今も変わらないか。

西島建設課長 現在、市街地から新庁舎への主要

なアクセス道路は3路線あると考えている。1路辺に中央公園、わくわくドーム、総合体育館など公共施設があるため、そこへ参集する方が多いと思うが、当局に再度

提言するが、本員は本庁舎前をアンダーパスにすることが、町民の安全な避難行動に繋がると確信している。アンダーパスの用地が安く、用地の確保が容易である。第2に信号機10カ所の設置の緊急避難時の回避にはこの場所のアンダーパスの必要性と

防災・減災、国土強靭化の国策事業として工事着工の要望活動を強く進め

ていいべきと思う。

笹島町長 旧役場現庁舎前の国道8号のアンダーパスについては、以前から五十里議員からもある程度の図面等も示して説明を受けたことがある。

基本的にアンダーパスといながらも、右折、左折ラインも含めていくと、基本的にはやはり4車線という面積的なものが必要であり、アンダーパスの以上、勾配と、延長もある程度を取る必要があり、実現は難しいのではないか。

なお県道入善字奈月線は、町中央部の南北連絡基軸の道路として、拡幅について毎年県へ要望を行い、事業化されたところだ。

海洋深層水取水施設の復旧工事に

問題点はないか

**キラキラ商工 工事はおおむね計画どおり進んでおり
工事監理体制も問題点はない**

観光課長

問 海洋深層水取水施設の復旧工事において、取水管敷設工事と建屋との建設工事に問題はないのか。



復旧工事が進む海洋深層水施設

また、工事監理に問題はないのか。

若林キラキラ商工 観光課長

令和6年9月議会において議決された取水ピット建設工事や推進工事、取水管敷設を実施している入善海洋深層水取水施設整備工事については、おおむね計画どおりに進んでいる。

現在は取水ピットや推進工事、取水管の製作が完了し、今後は洋上での取水管敷設工事や、陸上での機械設備、電気設備の工事を実施する状況となっている。

毎週必ず現場へ出向き、工事の進捗を逐次チェックしているほか、月に2回の定例会において、現場の詳細な状況の把握に努め、工事の監理

当該工事は、極めて短い工期の大型工事を監理するという状況を踏まえ、監督員を2名配置している。

当該工事は、地盤支持力の調査を実施したアトランドが地盤支持力の調査を実施したアトランドの敷地造成において造成工事のCBR検査をしなくてもいいと聞いたが、その理由を聞かせてほしい。

若林課長

CBR検査とは、道路などの路盤や路面の支持力を評価する土質試験である。

この造成工事は、事業造成地の構造物の取壊し、盛土、整地、排水路の付け替えなどを施工して、現場の詳細な状況の把握に努め、工事の監理

申合せをし、造成工事におけるCBR検査は不要としたからだ。

アトランド株式会社からは、地盤支持力の調査を行った結果、強固な地盤であり、構造物を建設するに当たり、良好な地盤として整備されているとの報告を受けた。

アトランド造成工事におけるCBR検査は、アトランドが地盤支持力の調査を実施した

いては、町の監督員が現地へ出向き、目視や土砂を直接に取つて確認をして良質な土砂と判断した上で、工事発注時の材料として採用した。



岡島 功 議員

令和6年度決算を認定

決算特別委員会レポート

審査の過程

8月1日から5回にわたり決算特別委員会を開催した。委員会では決算添付書類に基づき説明を受け、質疑を行った。

8月22日には総括質疑、討論、採決を行い、一般会計と国民健康保険特別会計は賛成多数で、その他の特別会計と事業会計は賛成全員で、それぞれ認定すべきものと決した。

令和6年度は、能登半島地震で被災した海洋深層水取水施設の復旧の年であった。地震で破断した2本の取水管を早期に復旧するため、国の財政支援を得て、取水管の整備が始まつた。令和7年中の完成を目指して進められている。そして防災対策に関心が高まる中、災害時の新たな

拠点ともなる、待望の新庁舎が完成した。町長が議会

響などにより、非常に厳しい経営状態にある。

に庁舎の今後のあり方を検討すると表明してから、およそ8年の歳月をかけた一大事業であった。

一般会計の決算は、歳入が約145億円、歳出が約139億円となり、財政状況は健全性が保たれていると判断した。

昨年4月に消滅可能性自治体に入善町が位置付けられたが、総合計画に基づき、ストップ人口減少に向けた各種施策を着実に推進していくことが、消滅可能性自治体からの脱却につながると思う。今後も引き続き、地道に取り組みを進めていただきたい。

主な審査意見

○介護施設の運営について
現在、介護施設では介護職員の不足で利用者を増やせないことや物価高騰の影

○学校体育館の空調整備について

小・中学校の体育館への空調整備については、令和6年度の国の補正予算において新たに臨時特例交付金が創設された。

近年、危険とも言える夏の暑さで、児童や生徒が熱中症等を起こしやすい環境となっていることや、災害時には体育館が避難所としても使用されることから、どうすれば臨時特例交付金

教育センターには、新たに特別支援コーディネーターが試験的に設置されると、教育センターの果たなど、教育センターの果たすべき役割はますます重要なになっている。児童・生徒へのきめ細かな対応が必要となる業務が年々増加しているので、教育センターの指導体制の強化を図ることも、人材の育成・確保を行つていただきたい。また、施設も手狭に感じられるところから、施設の拡張などにも配慮していただきたい。

その他

財政運営では、近年行つてきた新庁舎整備事業など大型事業に係る公債費の増加が懸念されるが、町の発展に資する事業については今後も有効な財源を最大限に活用しながら計画的に取り組んでいただきたい。

編集の窓

全国で熊の被害がおさまらない。町内でも足跡のようないものが見つかり、子どもたちの通学に影響しまし。数年前の横山地区内で駆除を思い起こします。熊をこんなに身近に感じるようになつた環境の変化に驚いています。ムツゴロウさんの「どんべえ物語」に出てくるような生活が不思議に感じます。町内で人の被害が生じないよう願うばかりです。

さて、10月19日に行われた町議会議員選挙の結果、新しい6人の委員で議会広報紙の編集にあたります。町民の皆さんに親しまれるよう頑張っていきます。

議会広報編集特別委員会
議長 池原 純一
委員長 鍵田 昭
副委員長 井田 義孝
委員 佐藤 一仁
〃 中瀬 淳哉
加藤 飯田 朱美
裕子